

# 「JA兵庫南自己改革」通信

皆様に愛され  
必要とされる  
JAを目指して

JA兵庫南の自己改革への取り組み、進捗状況を報告します。

vol.12

## 農福連携事業「農福マルシェにじいろ」を開催

農業従事者の減少と障がい者の働く場作りを結びつける「農福連携事業」。労働力不足の解消や新たな就労先として、両者がWIN—WINの関係を作ることができると期待されています。

昨年9月からJA兵庫南青壮年部と管内の障がい者就労支援事業所が協力してキャベツとニンジン農福にじいろ農園で栽培。今年1月27日、にじいろふぁ～みんで「農福マルシェにじいろ」を開催しました。当日は青壮年部と9つの障がい者就労支援事業所がそれら作物のほか、農産物や加工品などを販売。また、

和太鼓やよさこい踊りなどのステージイベントで会場は盛り上がりました。

中村良祐組合長は「障がい者も土に触れることで心と体に良い効果が期待できる。一方、農家は人手不足で困っている。お互いのメリットを生かし、次にできることを考えたい」と話されました。また、行政関係者からは「誰もが平等に社会参加できるユニバーサル社会づくりを進めている。このような取り組みがさらに広がってほしい」と期待の声が聞かれました。

### 「農福マルシェにじいろ」(1月27日)開催までの歩み

準備



キャベツ定植(9月28日)



ニンジン播種(10月9日)

月1回の除草などの管理作業を行い、

開催当日



農福連携で収穫した  
キャベツによる「キャベツ焼き」



稲美町「つくしとすぎなの会」  
メンバーによる和太鼓「つくし太鼓」

～農業の活性化と豊かな地域社会をめざし、創造的自己改革への挑戦!～  
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、取り組みます。